



令和8年度版

わかりやすい予算書

私たちの横手 2026

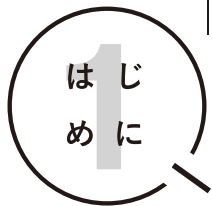
予算はまちづくりの設計図

予算はまちづくりの設計図
 予算には私たちの1年間の暮らしと未来がつまっています
 横手市の令和8年度予算の主な内容をご紹介します

目次

Index

1	はじめに／予算って、なに？	P 1
2	横手市の令和8年度予算	P 2
3	横手市の収入(一般会計歳入)	P 3
4	横手市の支出(一般会計歳出)	P 4
コラム	これから5年間の 財政計画を策定しました	P 5～6
5	総合計画と各種事業	P 7～25
ピックアップ	市立小中学校の児童生徒の学校 給食費を無償化します	P 11
ピックアップ	IRISSOアリーナ横手(横手 市立体育館)を紹介します	P 26



予算とは…

今年どのくらいのお金が入ってきて
 そのお金を何につかうか？ の見積もりです

納めていただいた税金は市の収入となり、さまざまな行政サービスに使われます。新しい年度が始まる前に、あらかじめ税金などの収入と、行政サービスに使う支出の金額を見積もったものが**予算**です。

予算って誰が決めるの？

市民の皆さんが選挙で選んだ市長と市議会議員が、市議会で話し合っ

市役所の各部署では、新しい年にどんな行政サービスを行うべきかを計画し、実際にどのくらいのお金がかかるのか検討します。

市長は、その検討結果を総合的にみて判断を加え、予算案を作成し、市議会に提案します。

市議会では、市民の代表である市議会議員がさまざまな意見を出し合っ



▲令和8年度予算書
はこちらから



▲過去のわかりやすい
予算書はこちらから

横手市の予算は、使い道や収入源の違いから、3つの会計に分かれています。

いっばんかいけい
一般会計

福祉や道路の整備、学校教育や産業の振興など、市の基本的な仕事をするための会計です。

市の事業の大部分が、この一般会計に含まれます。

576億7,100万円

とくべつかいけい
特別会計

特定の事業ごとにお金の計算をするための会計です。

横手市には、国民健康保険や介護保険、市営介護サービス事業など、6つの特別会計があります。

252億6,290万円

きぎょうかいけい
企業会計

独立した経営として、民間企業に近い仕事をするための会計です。

横手市には、病院・水道・下水道事業の3つの企業会計があります。

182億5,500万円

≡ 合計 **1,011億8,890万円** ≡

一般会計 当初予算のポイント

昨年度まで3年連続で過去最大の予算となっていました。令和8年度予算は前年度比較で11億1,600万円の減額となりました。

令和8年度は、市の将来像とこれを実現するための基本目標を定めた『第3次横手市総合計画』の最初の年です。計画にかかげている基本目標実現のため、政策・施策を推進します。詳細は7ページ以降をご覧ください。

特に重点的に取り組むものとして、少子化・人口減少対策や大雨・大雪被害などの自然災害に強いまちづくりのほか、道路や建物の整備・老朽化対策など、次の4つを重点項目としています。

令和8年度
重点項目

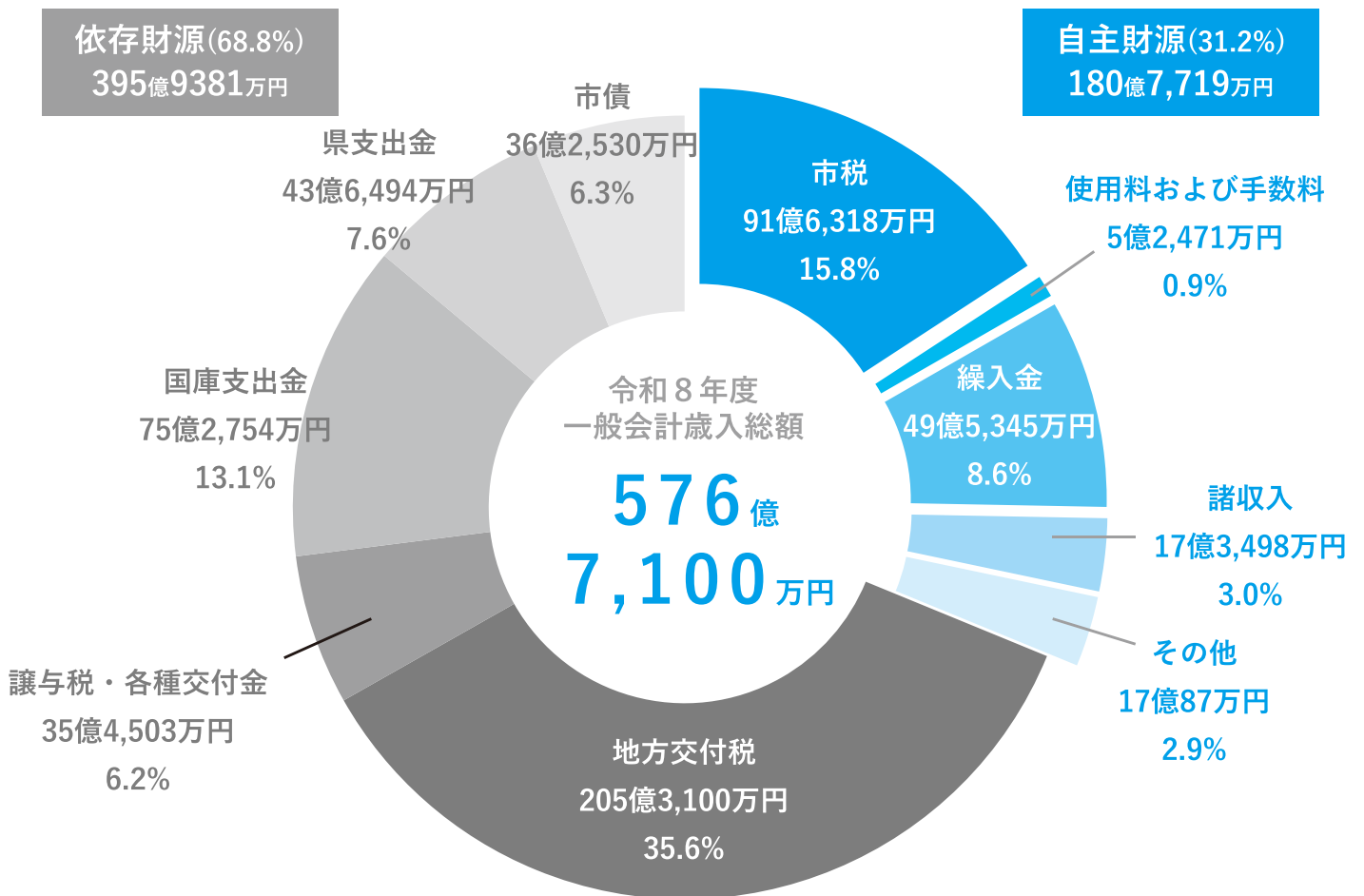
- 1 結婚・出産・子育てに希望が持て、将来を担う子どもたちや若者に選ばれるまちの実現（若者・子育て）
- 2 地域産業が潤い、市民が生き生きと働くことができるまちの実現（産業振興）
- 3 新たな時代に対応した地域づくり・人づくりを進め、新しい流れを力にするまちの実現（地域づくり・交流）
- 4 市民の暮らしを支える社会基盤を強化し、安全と安心に支えられたまちの実現（生活インフラ・安心）

3

横手市の収入（一般会計歳入）

さいにゅう
歳入とは
市の年間収入(入るお金)

歳入は、税金や公共施設の使用料、証明書の発行手数料など、自主的に確保する**自主財源**と、地方交付税や補助金といった国や県などに頼っている**依存財源**に区分できます。また、その使い道に制限のない財源を**一般財源**(市税や地方交付税など)、使い道が限定されている財源を**特定財源**(国庫支出金や県支出金、市債や使用料および手数料など)といいます。



いそんざいげん 依存財源

地方交付税

市の財政状況などに応じて国から配分されるお金

譲与税・各種交付金

国に納められた税金の一部で、使い道の制限を受けないお金

国庫支出金・県支出金

特定の目的を達成するために、国や県から交付されるお金

市債

道路や建物の工事などを行うために、市が国や金融機関から借りるお金



じしゅざいげん 自主財源

市税

皆さんから市へ納めていただく税金

使用料および手数料

施設の利用や証明書発行時などにいただくお金

繰入金

基金(市の貯金)を取り崩して使うお金

諸収入

他の科目に分類されない預金利子や雑収入

その他

そのほか前年度から繰り越した繰越金、ふるさと納税などの寄附金、不動産の売却収入など



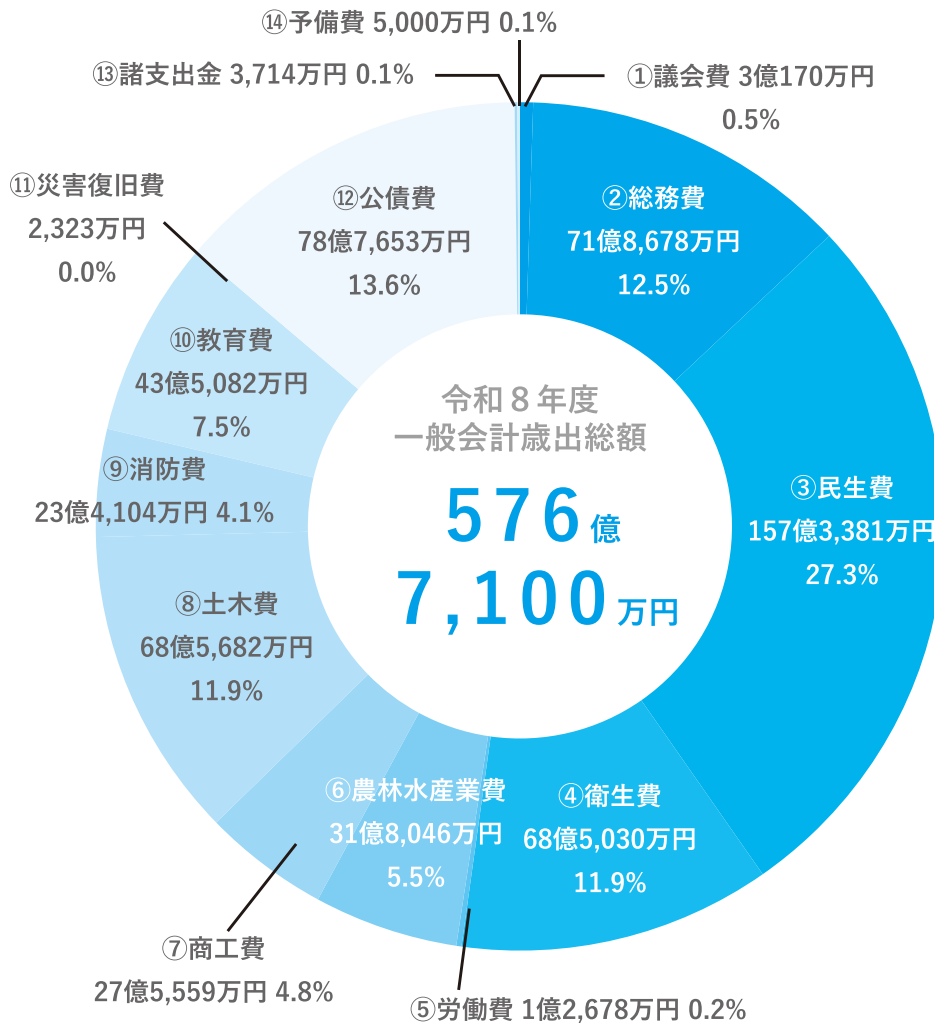
4

横手市の支出（一般会計歳出）

さいしゅつ
歳出とは
市の年間支出(出ていくお金)

歳出は、土木や教育など使う目的ごとに分けた**目的別**と、給料や光熱水費など同じ性質の使い道ごとに分けた**性質別**との、2つの見方があります。

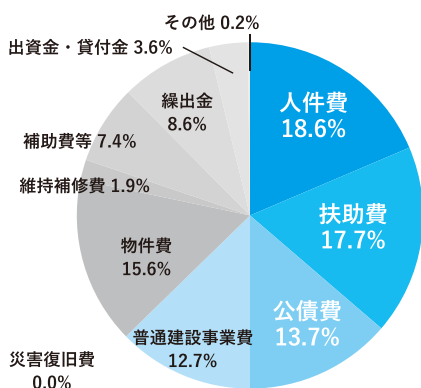
目的別



- ① **議会費**
横手市議会の運営にかかるお金
- ② **総務費**
市庁舎の管理や税金の徴収など、横手市全般の運営にかかるお金
- ③ **民生費**
子どもや高齢者、障がい者などの福祉の充実のためのお金
- ④ **衛生費**
ごみ収集や医療・保健など、日常生活や健康を守るためのお金
- ⑤ **労働費**
就職への支援や労働者の福祉などにかかるお金
- ⑥ **農林水産業費**
農業や林業、畜産業などの支援のためのお金
- ⑦ **商工費**
商工業や観光の支援のためのお金
- ⑧ **土木費**
道路や公園などの整備や維持管理にかかるお金
- ⑨ **消防費**
消防や災害対策などにかかるお金
- ⑩ **教育費**
学校や文化・スポーツの振興にかかるお金
- ⑪ **災害復旧費**
自然災害により発生した被害の復旧のためのお金
- ⑫ **公債費**
市の借金を返済するためのお金
- ⑬ **諸支出金**
他に含まれない支出にかかるお金
- ⑭ **予備費**
緊急の支出に備えるためのお金

性質別

性質別の分類では、人件費や公債費など支出が義務づけられた**義務的経費**と、道路や建物の整備などに使われる**投資的経費**、**その他の経費**の3つに区分できます。



義務的経費 288億1,832万円 (50.0%)

- 人件費** 107億5,119万円 職員の給料や議員の報酬など
- 扶助費** 101億9,060万円 医療費や児童手当、生活保護など、福祉サービスを提供するためのお金
- 公債費** 78億7,653万円 市の借金を返済するためのお金

投資的経費 73億5,546万円 (12.7%)

- 普通建設事業費** 73億3,223万円 道路や建物の整備などにかかるお金
- 災害復旧費** 2,323万円 自然災害により発生した被害の復旧のためのお金

その他の経費 214億9,722万円 (37.3%)

光熱水費や消耗品費などの物件費や施設の維持補修などにかかるお金



これから5年間の

財政計画を策定しました

財政計画は、健全な財政運営が継続できるように収入と支出の中長期的な見通しをまとめた計画です。対象の会計は一般会計で、計画期間は、令和8年度から令和12年度までの5年間です。令和13年度以降は参考見込額として示しています。

収入の見通しはどうなっているの？



計画期間の全体的な収入は、令和10年度までは増加、令和11年度以降は減少を見込んでいます。主な収入である市税は、市民税は現在税収が増加傾向にありますが、人口減少などを考慮しおおむね横ばい、市民税以外の各税目は減少を見込んでいます。地方交付税は、人口減少を考慮しつつ、近年の交付実績などを考慮して微増を見込んでいます。市債は、事業の予定により、令和10年度までは増加、令和11年度以降は減少を見込んでいます。

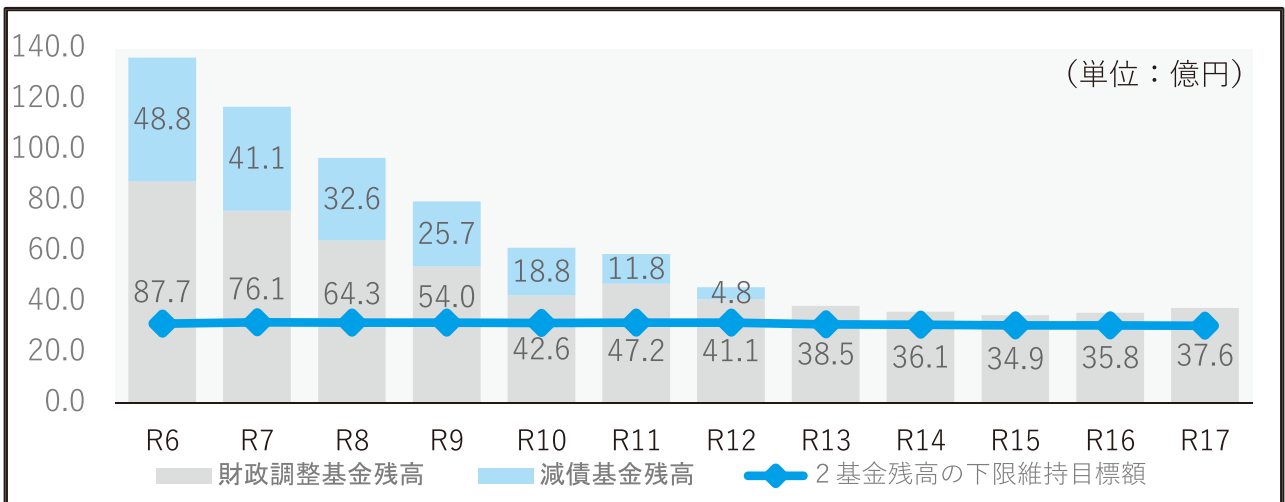
計画期間の全体的な支出は、令和10年度までは増加、令和11年度以降は減少を見込んでいます。主な支出である人件費は、職員数の見込みや給与改定の影響などを考慮し、微増を見込んでいます。扶助費は、人口減少などを考慮し、減少を見込んでいます。公債費は、過去の借金の返済に今後の借金の返済を加え、おおむね横ばいを見込んでいます。普通建設事業費は、事業の予定により、令和10年度までは増加、令和11年度以降は減少を見込んでいます。



支出の見通しはどうなっているの？

横手市の基金残高の見込み

市の貯金に当たるのが基金です。横手市には財政調整基金、減債基金などの基金があり、目的に応じて必要な時に取り崩して使います。財政調整基金と減債基金の残高は減少していく見込みですが、大雪や災害時の緊急的な支出に対応するために必要な目標額は維持できる見込みです。今後も一定の残高確保に努めていきます。



財政調整基金

財源の不足や災害など不測の事態に備える目的で、財源に余裕のある際に積み立て、不足する際に活用するための基金です。

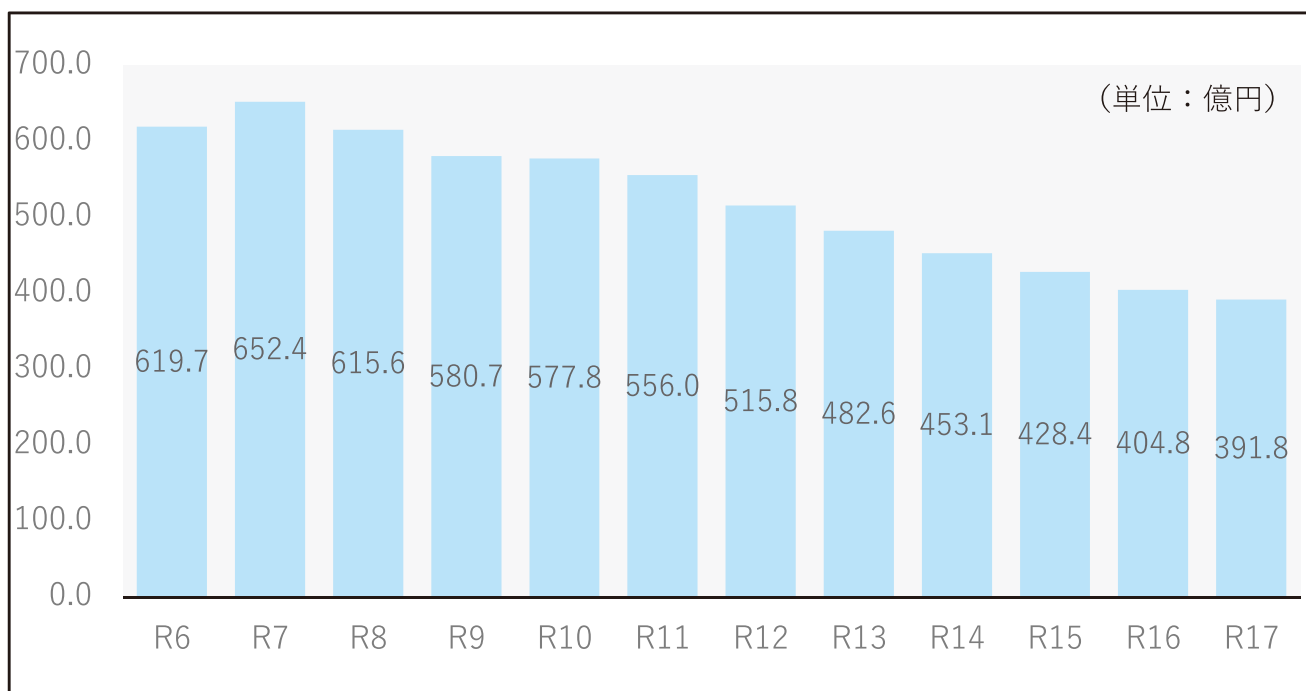
減債基金

借返済が集中して財政を圧迫しないよう、返済する資金をあらかじめ計画的に積み立て、借返済をしていくための基金です。



横手市の借金残高の見込み

借金（市債）の残高は、令和7年度で横手市立体育館（IRISOアリーナ横手）の整備事業がほぼ終了することや、合併特例債※の新規借入がなくなることなどから、令和7年度の652億4千万円をピークに、今後は減少していく見込みです。



※市町村が合併後のまちづくりに使える特別な借金で、国が返済額の7割を負担。

横手市の財政状況

自治体の財政状況を確認する指標に**実質公債費比率**と**将来負担比率**があります。実質公債費比率は借金の返済額の大きさを表す指標で、将来負担比率は借金や職員の退職手当など、市が将来的に支払う負担を示す指標です。国が示すイエローカードとなる実質公債費比率25%、将来負担比率350%の基準までには余裕があり、横手市は健全な財政状況と言えます。

